



介護あんしん 相談員だより

第31号 平成29年11月発行
発行：鳥栖地区広域市町村圏組合
(介護保険課 地域支援係)
連絡先：0942-81-3111

介護あんしん相談員は橋渡しをします！

施設に入居していると、ちょっとした不満や不安があっても、直接スタッフに言うことを遠慮してしまうことがあります。介護あんしん相談員はご本人やそのご家族が施設職員に直接は言いにくいことをお聞きしたり、客観的な目で見えて気づいたりした点を施設側に伝えて問題の解決をはかります。



利用者さんや介護あんしん相談員の声からいくつかをご紹介します
(平成29年8月・9月)



～介護あんしん相談員の声より～

相談員：●●さんは顔色もよく、口腔ケアもしっかりされているようでよかったです。
施設：ご本人様が歯磨きを徹底されて、口腔ケアは安心です。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



こちらの利用者様は以前大腿骨頸部を骨折して入院をされていましたが、今では歩行面も以前より状態が良くなっておられます。急な立ち上がりや方向転換も多い方のため、施設のスタッフさんが転倒予防のために見守り・声掛けを続けられているそうです。

また、口腔ケアが転倒予防にも関係があるのかな？と調べましたところ、しっかりした歯と噛み合わせは、身体のバランスを保つのに大変重要だそうです。入れ歯を装着したり治療をすることで噛み合わせや顎が安定し、歩行の安定につながるということでした。しかも自分の歯でよく噛むと、脳への刺激ともなり認知症予防につながります。

やはり、口腔ケアをしっかりすることで生活の質が良くなり、お元気になられたのではないのでしょうか。今後も継続して口腔ケアが出来る環境を整えて欲しいと思います。

先日は、施設での「叶えます隊」で妹さんの家に行き、希望されていた○○うどん店にも行かれ、とても喜ばれていたそうです。施設にはその時の写真が貼ってあるそうです。これからも口腔ケアをしっかりして、歩行面が安定してきたら、また妹さんとのお出かけも出来て楽しみが増えそうですね。

相談員：車椅子に座いながら、スタッフさんの手伝いを受けてボール運動をされていますが、あれはとても良い運動になっていますね。
施設：立ち上がり訓練やボール運動を毎日休まず実施されています。



【鳥栖地区広域市町村圏組合より】

車椅子に座っているとどうしても足を使う機会が減るため、筋肉量が落ちて立ち上がりが難しくなってくる人が多いようです。

施設では、作業療法士など指導してくださる方がいらっしゃるということで、それぞれの利用者様に合ったリハビリのお手伝いをスタッフさんがされているそうです。こちらの利用者様は、両足に大きなボールを挟み、足のリハビリをされていました。その努力もあって入居されて5年になられるそうですが、食事やトイレ、入浴や整容などはご自分で出来て、変わらずに過ごされているそうです。しかも自分なりに工夫した運動も継続されているそうです。

車椅子になっても出来る運動があることに気がつきました。自分でやる気になったらいっから始めても維持又は改善していけるものなのですね。ただ、運動をされる時には座る面全体と足の裏でしっかり体を支えることが出来るよう、その方に合った座る姿勢を整える工夫をして頂くと良いと思います。これからもスタッフの皆様、よろしくお願いいたします。



～利用者さんの声より～

利用者：「眼が見えないので毎日テレビの声ばかり聴いている。時には石ころ、草花に触れてみたい。」「歌が好きで、テープは持っているが自分では扱う事が出来なくなった。スタッフさんに言いたいことが忙しそうで言えない。」
施設：今後天気や気温に注意して、散歩に出かける機会を増やして行きたいと思います。



【鳥栖地区広域市町村圏組合より】

こちらの利用者様は眼が不自由という事ですが、居室内の行動は自分で出来るそうです。しかし、外に出るにはどうしてもスタッフさんに付き添って頂かないといけないために、遠慮をされていたのかもしれませんがね。相談員に日頃の想いを話していただくことで、施設に相談員が伝えることができました。これからは自然に触れながらのお散歩や、好きな音楽のテープを聴くことができ、より良い施設での生活が出来るのではないのでしょうか。スタッフの皆様、今後ともよろしくお願いいたします。



鳥栖広域 相談員だより

検索

鳥栖地区広域市町村圏組合のホームページで、今までの「介護あんしん相談員だより」を閲覧することができます。ご利用ください。